

廣峯ものがたり（十一月）
素戔鳴尊と方崇除け

「凶方占い」

秋色に染まる姫路の山々を眺めながら廣峯神社に参拝。境内は、かわいいたちの家族、山歩きを楽しむハイキングの仲間たちで、いつもより賑っていました。

十一月十五日は、実はあまり知られていないのですが、廣峯三大祭のひとつ『御柱祭』の日で、夕刻になると御柱焚き上げ神事が厳かにはじまります。

境内の石畳の中央に建てられた高さ約5メートルの御柱を、斎火で燃やし、倒れた方角によって、翌年の凶方位を占うとても神秘的な神事で、夕暮れの闇の中、燃え盛る炎を見つめていると、自分が抱える悩みやさまざまな思いが浄化されていくように感じました。



一般に十一月十五日は七五三の日と言われていますが、陰陽道によると一年のうち一番の大安吉日とされていて、陰陽道と縁のある廣峯神社の御祭神・素戔鳴尊の甦りの日でもあり、ご神威が最も高まる日とされています。と神主さんに教えていただきました。また、農耕神、暦神でもある素戔鳴尊は、方位方崇除けの神様としても信仰されています。よく方位方角が悪いと物事が上手くいかないとありますが、商売先や旅行先、引越し先、家の新築先が凶方（悪い方角）に当たることが、方位方崇除けの祈願を受けに参拝されているそうです。